

伝統ある新宿支部野球部の監督になりました。身の引き締まる思いであります。

私が野球部に入部したのは昭和62年12月の野球部忘年会からで丸22年たちます。

入部のきっかけは、昭和62年10月に開催された地区常会に参加して大学時代に水球をやっていた話をしたところ、当時の近藤昭三郎監督から勧誘されたことでした。

当時の私は、税理士になってから二年余りしかたっておらず、関与先の数も少なかったので、税理士会のクラブ活動に参加することなど考えたこともなかったのですが、忘年会に参加して、かなり年配の方もいらっしゃり、もしかしたらすぐヒーローになれるのではと考え入部してしまいました。

ヒーローにはなれませんでした。この選択は私の税理士人生をどれだけ豊かにしたかわかりません。

野球の楽しさ、素晴らしさを知ったことはもちろんですが、野球のような集団スポーツに、税理士業をしながら熱心に取り組むとは考えても見なかったことです。税理士になってよかったとつくづく感じながら、野球部の先輩たちにいろいろなことを教わり、支部活動にも参加するようになり、税理士の仕事を行うために必要な税理士法のことも学びました。

新宿支部野球部の特徴はチームワークがいいことだけでなく、強いことです。

私の入部した翌年の昭和63年の秋の大会で、新宿チームは19年ぶり通算10回目の優勝を果たしました。その後現在まで6回の優勝を重ね、通算16回の優勝は税理士会では杉並支部と並んでトップの成績です。

野球部に入って一番驚いたのは、皆が真剣に野球に取り組む真摯に努力している姿です。私も30歳を過ぎてこんなに真剣になれるものができるとは思っていませんでした。そしてそれが野球部の強さの秘訣だし、野球部が楽しい理由だと思います。

19年ぶりの優勝をしたとき近藤昭三郎監督が「チームワークの勝利、練習量の勝利だと思います。みんなリラックスしてのびのびとプレーしてくれました。」と感想を述べています。

野球に真剣に取り組むことが、仕事にも真剣に取り組むことにつながり、税理士業がうまくいくことにつながります。このような経験を部員の人たちにもぜひ味わってほしいと思います。

税理士になってよかった、新宿支部に入ってよかった、野球部に入ってよかった、といわれるよう、愛する税理士業、愛する野球部のために頑張ります。

宜しくお願いいたします。